



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場会社名 スミダコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6817 URL http://www.sumida.com
 代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 八幡 滋行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO (氏名) 本多 慶行 TEL 03-6758-2473
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	57,938	22.4	2,768	103.5	2,364	145.8	1,337	—
25年12月期第3四半期	47,318	21.5	1,360	△0.6	961	17.6	△1,674	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,814百万円 (22.7%) 25年12月期第3四半期 1,479百万円 (104.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	57.62	—
25年12月期第3四半期	△77.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	65,485	15,980	22.7	641.80
25年12月期	56,743	14,510	23.9	583.50

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 14,897百万円 25年12月期 13,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	5.00	5.00	5.00	5.00	20.00
26年12月期	5.00	5.00	5.00		
26年12月期（予想）				5.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	18.9	3,100	82.6	2,500	125.8	1,600	—	68.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. 「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	23,944,317株	25年12月期	23,944,317株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	732,914株	25年12月期	732,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	23,211,518株	25年12月期3Q	21,534,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会の開催)

当社は、平成26年11月4日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、回復感のあった欧州経済に停滞がみられ、景気減速・デフレ懸念が強まりました。また、中国経済は景気てこ入れ策にも関わらず、依然として減速懸念が払拭されない中、米国では雇用の回復、所得環境の改善が続き、景気の回復基調が継続しました。

電子部品業界を見ますと、家電製品関連ではスマートフォン向け需要が好調に推移しました。車載関連を見ますと、自動車の電装化が進展する中、自動車販売が好調な北米市場向けが伸び、電子部品需要が拡大を続けました。また、インダストリー分野では、産業機器関連向け等設備投資関連の受注が堅調に推移しました。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の当社グループはインダストリー分野において産業機器、エネルギー、メディカル・ヘルスケア向けの市場開拓、売上拡大を目指し、その戦略の一つとして新たにスマダパワーテクノロジー株式会社を設立し、今後成長が期待できる医療機器関連向けの強化を進めました。また、車載関連向けの需要に対応するため、メキシコ等工場の拡充を進めました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループを見ますと、家電製品関連ではスマートフォン向けが堅調に推移し、車載関連が欧州、北米で好調であったこと、インダストリー分野で産業機器向け等が堅調であったことに加え、前年同期に比べ円安/米ドル高・ユーロ高に推移したこと等から、売上高は前年同期比22.4%増の57,938百万円となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は前年同期比103.5%増の2,768百万円、経常利益は同145.8%増の2,364百万円となりました。四半期純利益は1,337百万円（前年同期はドイツでの洪水被害の影響や繰延税金資産の回収可能性を見直したこと等から1,674百万円の四半期純損失）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (平成25年1月1日 ～平成25年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (平成26年1月1日 ～平成26年9月30日)	増減	
			金額	増減 (%)
売上高	47,318	57,938	10,620	22.4
営業利益	1,360	2,768	1,408	103.5
経常利益	961	2,364	1,402	145.8
四半期純利益	△1,674	1,337	3,011	—
平均為替レート (円)	米ドル	95.21	102.68	
	ユーロ	125.15	139.88	

(報告セグメントの状況)

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの状況は次のとおりであります。

(アジア・パシフィック事業)

アジア・パシフィック事業では、スマートフォン、タブレット端末向け以外の家電製品関連は伸び悩んだものの、インダストリー分野では産業機器向けなどに動きが見られ、ABS/ESCに加え、北米等でスマートエンタリー向け等車載関連の需要が好調に推移したこと、前年同期に比べ円安に推移したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比14.4%増の34,729百万円となりました。セグメント利益は同60.8%増の2,690百万円となりました。

(EU事業)

EU事業では、家電製品関連、インダストリー分野では大きな動きが見られなかったものの、スマートエンタリー、HIDランプ向け等車載関連が好調であったことに加え、前年同期に比べ円安で推移したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比36.8%増の23,209百万円となりました。セグメント利益は同38.3%増の1,642百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は65,485百万円となりました。流動資産は商品及び製品が減少したものの、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品等の増加により6,697百万円増加しました。固定資産は機械装置及び運搬具等が増加したこと等により2,071百万円増加しました。これにより、当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比8,742百万円増加しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は49,505百万円となりました。短期借入金が減少したものの、長期借入金等が増加したことにより、前連結会計年度末比7,271百万円増加しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は15,980百万円となりました。四半期純利益1,337百万円を計上したことに加え、前連結会計年度末に比べて円安となったため、為替換算調整勘定の純資産の部からの控除額が前連結会計年度末比346百万円減少したこと等により1,470百万円増加しております。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から22.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比549百万円増加し、4,081百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は140百万円（前第3四半期連結累計期間は3,563百万円の収入）となりました。

売上債権の増加による4,442百万円等の資金流出があったものの、税金等調整前四半期純利益2,381百万円、減価償却費による2,424百万円等の資金流入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は4,365百万円（前第3四半期連結累計期間は2,390百万円の支出）となりました。

有形固定資産の取得による4,271百万円等の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は4,763百万円（前第3四半期連結累計期間は578百万円の支出）となりました。

短期借入金が3,643百万円純減し、社債の償還による770百万円等の支出があったものの、資金調達により長期借入金が9,561百万円純増となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間までの実績を踏まえ、平成26年2月12日の平成25年12月期通期決算発表時に開示した平成26年12月期連結業績予想を修正することとしました。修正した業績予想の数値は以下のとおりです。

なお、業績見通しの前提となる為替レートは、米ドルは104円、ユーロは137円を想定しております。

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期連結純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	68,200	2,700	2,100	1,300	56.01
今回修正予想 (B)	76,000	3,100	2,500	1,600	68.93
増減額 (B-A)	7,800	400	400	300	
増減率 (%)	11.4	14.8	19.0	23.1	

詳細につきましては、平成26年10月30日に別途開示しております『連結業績予想の修正に関するお知らせ』をご覧ください。

【業績の予想に関する留意事項】

業績予想は、当社及び当社グループが決算発表日現在における将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。従って、今後の事業運営や内外の経済環境の変化、為替レートの変動等様々な要素により、実際の業績が記載の予想数字と異なる可能性があります。なお、リスクや不確定要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,581	4,119
受取手形及び売掛金	12,840	17,464
商品及び製品	6,082	5,655
仕掛品	1,188	1,368
原材料及び貯蔵品	3,767	4,687
未収還付法人税等	313	375
その他	2,084	2,875
貸倒引当金	△270	△260
流動資産合計	29,588	36,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,756	12,189
機械装置及び運搬具	33,880	37,306
工具、器具及び備品	4,748	4,732
土地	1,393	1,380
リース資産	1,166	1,136
建設仮勘定	1,582	1,661
減価償却累計額	△36,391	△37,824
有形固定資産合計	18,136	20,581
無形固定資産		
のれん	2,671	2,482
その他	1,056	1,001
無形固定資産合計	3,727	3,483
投資その他の資産	5,204	5,075
固定資産合計	27,068	29,139
繰延資産	86	59
資産合計	56,743	65,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,393	7,464
短期借入金	10,843	7,033
1年内償還予定の社債	770	4,520
1年内返済予定の長期借入金	4,523	6,214
未払法人税等	405	788
その他	4,417	5,012
流動負債合計	27,352	31,034
固定負債		
社債	5,420	900
長期借入金	6,335	14,498
退職給付引当金	1,269	1,281
その他	1,855	1,790
固定負債合計	14,880	18,471
負債合計	42,233	49,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,143	8,143
資本剰余金	7,956	7,956
利益剰余金	4,836	5,826
自己株式	△1,524	△1,524
株主資本合計	19,412	20,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	64
為替換算調整勘定	△5,914	△5,568
その他の包括利益累計額合計	△5,868	△5,504
少数株主持分	966	1,083
純資産合計	14,510	15,980
負債純資産合計	56,743	65,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	47,318	57,938
売上原価	39,111	47,497
売上総利益	8,206	10,440
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	657	685
従業員給料及び手当	2,357	2,885
減価償却費	171	227
研究開発費	848	940
その他	2,811	2,932
販売費及び一般管理費合計	6,846	7,671
営業利益	1,360	2,768
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	1	1
デリバティブ評価益	128	-
為替差益	-	42
その他	28	60
営業外収益合計	171	113
営業外費用		
支払利息	331	329
為替差損	107	-
デリバティブ評価損	-	3
その他	129	185
営業外費用合計	569	518
経常利益	961	2,364
特別利益		
固定資産売却益	9	28
受取保険金	1,356	375
減損損失戻入益	-	137
特別利益合計	1,366	540
特別損失		
固定資産除売却損	9	23
事業構造改善費用	-	13
減損損失	38	-
社会保険料追加負担金	-	228
災害による損失	1,458	257
特別損失合計	1,506	523
税金等調整前四半期純利益	821	2,381
法人税等	2,381	931
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,560	1,450
少数株主利益	113	113
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,674	1,337

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,560	1,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	17
為替換算調整勘定	3,023	346
その他の包括利益合計	3,039	363
四半期包括利益	1,479	1,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,365	1,701
少数株主に係る四半期包括利益	113	113

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	821	2,381
減価償却費	2,159	2,424
のれん償却額	248	276
受取利息及び受取配当金	△13	△10
支払利息	331	329
減損損失戻入益	-	△137
デリバティブ評価損益（△は益）	△128	3
売上債権の増減額（△は増加）	△882	△4,442
たな卸資産の増減額（△は増加）	△303	△578
仕入債務の増減額（△は減少）	1,137	979
その他	885	△336
小計	4,256	888
利息及び配当金の受取額	13	10
利息の支払額	△326	△297
法人税等の支払額	△380	△461
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,563	140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,445	△4,271
有形固定資産の売却による収入	167	87
投資有価証券の売却による収入	41	91
関係会社株式の取得による支出	△22	△1
その他	△132	△271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,390	△4,365
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,538	△3,643
長期借入れによる収入	1,855	13,410
長期借入金の返済による支出	△1,929	△3,849
社債の発行による収入	600	-
社債の償還による支出	△1,060	△770
株式の発行による収入	1,839	-
配当金の支払額	△307	△347
その他	△37	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578	4,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	453	11
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,047	549
現金及び現金同等物の期首残高	2,557	3,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,605	4,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額に前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	30,347	16,970	47,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,078	1,026	2,105
計	31,246	17,996	49,423
セグメント利益	1,673	1,187	2,861

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,861
全社費用(注)	△1,500
四半期連結損益計算書の営業利益	1,360

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	34,729	23,209	57,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,055	1,203	3,258
計	36,784	24,412	61,197
セグメント利益	2,690	1,642	4,333

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,333
全社費用(注)	△1,564
四半期連結損益計算書の営業利益	2,768

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。